

## 平成 28 年度まちづくり座談会における質問・要望事項と回答

■蚕桑地区：8月19日（火）午後7時30分～9時                      参加者数 61名

Q. 以前は 31 億円だった複合施設整備の事業費が、現在は 32.2 億円まで増えている。今後とも増えていくのか。

A. 事業費については基本設計の段階で 32.2 億円となったが、基本構想に比べて労務単価的な部分は上昇しており、それも含めて事業費をはじき出している。今後の実施設計ではさらに詳細に事業費の計算を進めていく。

Q. 複合施設整備の背景に「町民が安心・安全に避難できる場所の確保が、現在の施設では困難」とある。防災センター的機能をもった部屋が 2 階に位置しているが、実際に避難者が集まってきた際に不都合となることはないか。

A. 防災センターについては、最終的には避難所となる可能性もあるが、一般的には中央司令部のような役割を果たす施設になると考えていただきたい。

Q. 地元の木材を燃料とするバイオマスボイラーを導入するとあるが、どのような供給システムを確立させていく予定なのか。

A. バイオマスボイラーについては、現時点ではチップボイラーになることを想定しており、すでに町内でチップ工場を作りたいという業者が複数社いる。その中で、将来的に木材の供給の仕組みが成り立つような事業にしてほしいということを説明させていただいている。

Q. 有利な財源で建設するとあるが、事業の推進にあわせて事業費が増高していくのは危ないのではないか。また、有利な財源と言っても、国の財源で賄われない部分は地方が負担するのではないか。

A. 有利な財源というのは、どの時点でどう判断するのが難しい部分。林野庁では、木材公共施設整備という制度事業があり、いろいろな制度を照らし合わせたときの補助内容としては現時点で一番有利なものと考えている。また、現在の過疎債の制度が平成 32 年度までとなっており、それも合わせてタイミング的には今が一番良い時期であると考えている。

Q. 町の森林を健全な状態をつないでいくには、町民が本気になって里山を守り、補てんしていくことが最初にやるべきことではないのか。

A. 外材の輸入等で山の価値が下がり、山から離れていった。そのため、自分たちの山の境界もわからない現状である。境界がわからない山の木を勝手に伐採することはできない。町民の皆さんに議論していただき、境界の明確化に取り組み、間伐や皆伐へと進めていく必要があるだろう。

Q. 複合施設の耐用年数はどのくらいなのか。

A. 木造の事業所というのは 24 年が法定耐用年数になっている。これは税法で定められているものであり、実際はそれ以上使えるものとなっている。

Q. 複合施設の規模は現在と同程度になるようだが、現在の庁舎の規模では手狭になるのではないのか。

A. 現在の庁舎の延べ床面積は約 2000 m<sup>2</sup>、中央公民館はそれよりも少し大きいくらいになっており、分庁舎が約 600 m<sup>2</sup>になっている。その中で、庁舎も中央公民館も狭いように感じられる方がいると思うが、実は使っていないスペースがかなりある。そこで、そのスペースを極力減らし、町民の方が利用する図書館などの施設のスペースを大きくすることを町民会議の話し合いの中で決めてきた。

Q. 図書館のスペースを広くするようだが、活字離れが進む中で本当に図書館を利用する人が増えるのか心配である。

A. 現在、町内には本屋や文房具店がなく、子どもたちが文字に飢えているのがわかる。図書館には、夏休みなどになれば子どもたちが必ず勉強に来るし、文字離れを食い止めるためにも、余裕をもって利用できる図書館の確保を進めていく必要があると考えている。

Q. 溜池も含めた中丸公園の管理は、現在どのようになっているのか教えてほしい。

A. 中丸公園の管理について、スポーツ施設等については教育委員会で管理しており、溜池を含めたそれ以外の部分については建設水道課の管理となっている。また、野球場の北側にある木橋の上流部については、砂防指定地ということで県の管理となっている。中丸溜池は、平成 25 年度の豪雨災害で土砂が流れ込み、一度は重機で浚渫を試みたが全ては上げられず、平成 26 年度に再度発生した豪雨災害により現在のような状況になっている。そ

ここで、まずは池の上流部の整備が必要ということで、未整備となっている陽光学園南側の約 200m区間の整備を県へ要望し、今年度と来年度で対応していく予定となっている。そして、その部分の整備が完了した後、地域の皆さんの意見を頂戴しながら中丸溜池の今後の方向性を決めていきたいと考えている。

Q. 就業センターと、野球場、ソフト球場の改修工事の概要と工期を教えてください。

A. 平成 29 年度開催予定の全国高校総体に向け、今年の 12 月を目途に工事を進めている。内容としては、バックネットの更新、ベンチの交換、バックスクリーンの塗装、球場の土の入れ替え等を予定している。就業センターについては、床や壁の修繕を予定している。

Q. 溜池の場所を駐車場にするということを耳にしたが、そのような構想はあるのか。

A. 現在、そのような構想はない。

Q. 溜池の草を刈るなどの整備を進めていただきたい。

A. 草刈りについては、足場をどうするかなどを含めて検討させていただいている。

Q. 災害が発生した際の、蚕桑地区と鮎貝地区、もしくは町全体の連絡協議会のようなものが必要だと思う。

A. 防災協力については総務課で担当させていただいている。自主防災組織との関係については、町内全 26 地区で組織化を図っていただき、防災の対応をいただいている。地域によってはそれを核とした防災訓練の実施、あるいは防災講習会の開催、防災マップの整備等々で活動いただいている。一時避難については各区等が指定する施設に避難いただき、長期になれば町の指定する大規模指定避難所への非難を指揮させていただいて、必要な物資等の供給を含めて対応させていただいている。また、自主防災組織の連絡協議会について、町全体としては全 26 地区での連絡協議会として組織化させていただき、情報の共有等を図っている。地区ごとの対応や、鮎貝地区との連携については、各地区防災組織の皆さんと検討させていただきたい。町としては、全 26 区の自主的な活動を支援するソフト事業を平成 27 年度に創設し、活動の資金ということで対応させていただいているので、それらを活用した事業展開をしていただけるようお願いしたい。

Q. まちづくり座談会の時間をもう少し長くしてほしい。

A. できるだけ多くの方に参加していただきたいということで時間設定させていただいた。  
来年度以降の開催時間については、より多くの方に参加していただけるようにコミセンとも  
協議させていただきながら設定していきたい。